





|        |       |        |        |      |
|--------|-------|--------|--------|------|
| 湯島花町   | 出 高草  | 柳町     | 大塚原町   | 葉 櫻堂 |
| 湯島長杉町  | 柴田 之  | 市ヶ谷山伏町 | 林 文衛   |      |
| 駒込 駿本町 | 金田 昇二 | 御簗町    | 古屋 吉郎  |      |
| 新市     | 太仁 利寛 | 新宿土狂   | 大島 久義  |      |
| 大塚町    | 北原 千秋 | 同      | 池田仲太郎  |      |
| 田町     | 秋生田藏  | 下落谷    | 秋田 鶴   |      |
| 指町     | 秋生田蔵  | 同      | 西沢安次郎  |      |
| 同      | 蒲田 武実 | 曙町     | 小野田實   |      |
| 東喜樂町   | 四宮 久吉 | 戸塚     | 河越 莚   |      |
| 湯島 神   | 和田 善壽 | 同      | 佐藤 榮三郎 |      |
|        |       |        | 佐藤 三郎  |      |

當日晴出先、友友青年同窓会の結成大会、切實準備を怠りして、左の要旨の筆事があった。

幸い私の所信に於て友友精神を基調として、『友友青年同窓会』が四月廿九日日本赤十字会総会に結成される氣運にあつたことでは、日本の現状に於けるにもたゞぬといふ強い希望が、若く青年なり國民に發達し、来ながらであると思ひます。

ほんとうの民主政治は今のありかたでは駄目で、野放図弄放な個人本位の利己主義に脱線しているようなものであつて、民主政治の最も重要なことは、人間の尊厳に基づく自由の尊重で、こ

# 日本人の生活

我々は、壬午年中  
間におり、それで又  
自分の居所がわか  
らない。

平和會議に出席し高  
貝、富饒、岫島の民  
が、仲小舎に二、三  
で酒酬を受けた。其  
の計を算するに、

の次に結婚せる、天徳日本  
としては高麗藝術がある。  
その私の種族は七十九、千  
で日本を換算して二、百  
らう。そのから八戸は実  
大衆被服して、毎年五  
政府の領の参見方  
備料、水産三、千、計十  
八千を引いて、残りは六

以上で、中共政の實際をシントゲ  
 ン兵に透したの如く独断大膽  
 を發したと云ふ都合の方であ  
 る。さて、この點に對しては、  
 毛澤東同志は日本人は擧げてい  
 る點について、  
 私身の名譽について述べ  
 られた、政府實際中、中樞閣の局長  
 八万四千圓にしかない。  
 結算警察の名は日本を冠して  
 千五百圓、燃料生産費は  
 その七、五厘、  
 それの七、五厘は豫定の附金  
 として五圓、やれ飛行機、砲  
 納運動の附金といふ、五、五  
 圓と、間接運動のために自然  
 に此の形にあられた。

盛況を極めた当日の会場風景

## 「コルトン氏」を訪ねて

月八日、世田谷の田端御帶  
齋藤近代雄が、あつて、そこ  
に早稲の日に向つて、パチパ  
チとタイプスターを打つ音が飛  
びこる。

中人生の著者アーナ・ホー  
ルキルの紹介で、友愛青年同  
盟会へ、カルギを自在に招  
けようとする。アネス・ハイ  
ランドの横田氏に呼ばれて、大盛  
会は、日本鼓からタンラ  
タの手を休めながら見聴で  
踊り足踏の舞がおぼろまら  
かに動物たち、それは、胸は  
びくきん動かないままに語る。

猿轡やうまさから語ると、  
カルギに手紙出す。猿タイ  
シだが、面白くないかタイ  
シのやりなれた。カルギは  
欧州訪問の仕事が忙しくて、今  
年日本に来ることが出来なくて  
来華の欲願といふ一頁目だと書  
つて来たのですが、今年中には  
どうして日本に来たいのかは  
それについていろいろな理由  
を書き添へた。カルギの打直しです  
友愛青年同盟会の結成されるは  
大変嬉しい。早速この星カレ  
ルギに知らせ、日本に来て理  
由の二つにたいして、これから  
当然結成大會、間に合ひなから  
う、ヌツヤジを讀みうちにし  
ましょう。

終始とよかエコーキを描女、  
友愛青年同盟会のために、カレ  
ルギの白鳥の翼をよりよく引けて  
結婚を期待していた。

中  
共  
の  
肅  
清

に処刑された中国人はどれ位  
二十年間極東に住み、報道  
千人人が肅清の犠牲になつて  
とし伝えられている。

情を叫ぶ

日共は昨年秋の総選挙に敗れて、  
 第二、三中委員会で、自己批判をうとうと、留員の再整方針の現れとして、今度茨城地方の「国民作学校」と「経営作学校」を開設することを朝日見聞が、この再整の目的に「知」「情」「意」を兼ねた留員を養成するにしているが、共産党中に「情」があることを知つて無黨を啓蒙してゐる。

豊解イナオロギを學習する知識はついていた、又このイナオロギを實踐するに、暗固意識の必要をなして知つてゐる。

は、親も兄弟も妻子も相つれない、  
 厳然たるものがある、まして留員間には留員の行動を監視しようとして、自己の安全を予言することとで、  
 が出ない程の監視の対し、  
 として「情」を揮、育成することが企圖である。民主主義を非するわれわれは、己の人格保持とならば、他への人格的交渉ととも相侵し、協調することとを盡さざるが、律算が「情」の表現は、  
 に於けるか、  
 わが女後補神は後封制編纂修正という名義の下で捨て去られ水と聞及、隣人愛を誦し以て新を、  
 世代を繋ぎつゝのである。

援助物資？

昭和十一年五月、主權還の米に  
て運動に端を發し、戦後初めて  
食糧メーが露國に於て購は  
れ、一方対日課金のアチンと騰  
長に倣後初めて、共產主義反  
對を明する、露國と杜松露國  
のものにおいて積極化されたもの  
である、占領政策の一環として  
この助けが計圖され、實施された  
ことは、日本國民の常識であら  
ばかたくな、當時は流を流して  
速に國境に米國、露國したもので  
ある。貰つたばかりやアチンの小  
麥粉を、トモロコシの粉、  
食糧に至るまで、食糧欠乏に  
悩む日本人に、この放出は机を  
下置し、日本にして、その代金  
を先方へ返つて貰ふ方がよい、ほ  
ないか、肯定する。滿洲の現  
在、關東日本政府の間にどんぱん  
束があるにしても、民間に米を  
ではあつて活め、勸導等であ  
ることは否である。

大正課金以前に、米國資本が中  
國の化學品に流れた額が王  
假り半に載せた食糧はれていた  
この事は米國が承知するもの  
で、全部中國人の懐から出た  
た、その方法を銀行を借り  
その銀行預金した金で、  
食糧配手しに授けられたけ、  
會が出たのだと中國人から

自由と人生

る。とな石礎の（平和人類）して（人）る。

本村氏の解體曰く「戦争中の、愚かなりやうな  
圧迫の中で、この眞實を見付け出して語つてゐるは、  
も、日本の政治家としては善い点で、法律を抜いてゐる  
思われる。まして況やこれ大なる謬誤をおぼへ、こ  
こで、馴れぬ浪筆と云ふを、返却するだけの情態を  
して惜まなかつたといふのは、この人自身が舞臺で  
ゐるに、この何々の疵點である。」

人誤るるといふのなら、これをなす傳の政治家であらうが、  
うが、自分で親し筆をうづたの、運いになつては、そ  
素人誤らうといひないが、その所、誤つてゐるのも  
ある。私達の思ひ言ひのない親しむ敬愛をなさ  
る。此の點を政治家のため、善い解體の筆を扱つたもので

再讀！を悟り義意眞由自讀一

一つの爆彈

馬場恒吾

自由人生に於て極端に立派な應を有此書の初めの一章が、讀者讀み終へば皆天の響に逢ふ如く持て、これ大變な感動だと氣が附いて、座り直すであらう。それだけこれだけの人生の生活の道途に於てこれを感じてゐる。クデンホレというのは、明治時代に日本に於いては藥利牙利便の名である。その人が日本の女と結婚し出た原書が本書の著である。クエンホレ・カレルが、歐洲諸國と明證になり、その著者が日本政權の巨頭である山一郎の手に依つて日本の識界に紹介されるという、と如何の歴史的因縁であつた。

此書は幾多重要な問題を提することに依つて日本社會界を揺つた一つの傑作と言つて可い。

東京・文京區附近  
振興東京四〇一八

乾元

計

土木建築請負業

見上工業株式會社

社長 見上仙太郎

札幌市神奈川神奈川町丁百十六番  
電話 神奈川 二三六九

学  
生  
の  
場

**光明は西から**

長崎縣 伊藤米藏  
前昭和二十一年二月日朝銀仁川に引揚げて、米の移住を眺め、笹米の如く利益と進歩を以てする。自衛隊を自ら指導す。自衛隊は身を退き、小腰に安全な氣になれず。裸一貫から商業を受け、その取返せぬ明日の延も吉む。岡田の今日に敵力ながら補助として今日に幸ひました。知人團體のみで郷里未開驛路となつた荒涼地を先づ未知の州への北拓地区に、裸一貫から苦闘することにより、今日の現状がわかり、同胞の苦しみも理解出来ました。今日の苦悶の度不徹底は痛つとし正し生き生さるる人々にならねばならぬものがある。

思想的に社会化・利己的のみ流れて、自己一統の意に疑いの暗翳が影ながら（？）影を投ずあつます。

田田屋のほろよいの讀史として悲しく願ふ。

正しく生きるために奮闘する人々に、夜寝手を筆を延べる機關を作るのが、日本全體の一助にして必要だとへんかゝるものと信じます。

そのために飯力を奪う、引揚り来一平社など名前の下商品運搬をなし、職なき人、貧乏なき人等に商品を貸して、努力した結果北拓の小店などが三丁五丁が出来生活の安否をなつて居る。久留米に小規模ながら石磨工場を新設して、長崎・佐賀の間に販路を開拓貿易目録働く人の職が、屈拡大され皆皆光明を加へておきます。

七年間、教方方の年数、極端に遅い成の運転費を失ひましたので、之人を見る眼を身られたと思つておきます。

國者の生活を的確にため、明治日本の招きを飽きず當惑で友誼年間恋愛の一員としてこれに加へて、九州一日運動展開を期して、九十九

何かの細指環と手錠をゆるさなくてはあらず。

**新しき希望**

石川縣 北村榮次郎  
開の開港場も盛況で、自衛隊の

**青年對策を望む**

新潟縣 竹田糸平  
占領後現在まで、青年の対策に無関心であつた讀者の耳に大分さく、東西兩側及び陸軍の中已独立する国は安泰にいうことばかり飛躍前にしてのことである。

このときに気がない、希望のない

通説大全二巻附  
 中興院大學  
 中央大學  
 東路大學二部  
 東京経道大學  
 東京女子大學  
 心懸かたうて来た言葉は、方發  
 一筆であつた。これこそ今迄希  
 られに、な自己の矛盾と、封建  
 な士庶の觀念を擧止して、より  
 吉慶村郎の建設に邁進すること

雪肌子は次第に薄くなった。雪肌  
に塵子斑の汚点が目立つて、此処  
に塵子の穢染に春が訪れたのである  
。一年の卒業を前にして、病魔  
に見舞れた家庭で静養の日々を送つ  
ているために、毎日の新聞が唯一  
の新聞である。三つに三つと

[illegible]

に解れてくる。先づの意  
向が察知にあるかは別として、帰  
ることの出来る同胞にうては  
福言ある。

先歸つたわれわれと違つて、八  
だ、歸る人を温かい心で迎える。  
なかくも結果は近き將來に出るの

る現状である。

しかも卒業を後数日に控えて今尚職無き學生が甚にあふれ、學校は年毎に甚くなつてゆつてゐる。

(栗田吉郎)

時代を再興せる有爲な青年が、その働く場所を得ないことは國家に於て本人にも最大の不幸福であり、杜絶無き事を、原因となつてゐる。職が無いから大學院へ来るなど學問の専攻は定まらぬが、粗獷な大學院は學問を備へるの條件を呈してゐるのである。

職無きことを亦社會主義の信奉者も欺たし、戦争や、革命を起しての爲め年の過期を待つより他何ものもない筈である。

青年の方向に指針を注ぎ、愛ある國民運動の指導として先生の大理想が實現して、青少年の胸望に深く刻まれ行くことが衷心から希望して、先生の御側面回復を祈してやみません。

**新會員(順不同)**  
近藤孝興、金田昇一、近藤賢一、大下利男、野崎雅生、小野竹範、長壽郎、櫻田四郎、金子幸太郎、  
四本は前條の目録成のため左の裏紙之行つ、  
一、方鏡神神及び原廣樹の描描、  
二、愚防衛と愚神制神の生産増強及び陣十開拓を自念とする  
愛國運動の推進

高橋八郎吉、小野田賢二、高橋庄八郎、吉田耕三、高島山、鈴木正、山田孝七、奥田明、山田孝七、金満に於けるその通り金銭を納入する。

(A) 諸君、

三郎 田中英四、鈴文七郎、緑川中太郎、高林龍崎、河瀬泰平、上田孝、佐藤ます子、西郷町、辰口武重、小島入、山崎雄、飯田鶴、伊賀重、富千重、小野外吉、横濱、綿田重正、馬越旺輔、北村次太郎、大塚敏、安川安平、吉田健、吉住篤、佐藤栄志、岡山忠郎、齊川壽吉、伊藤榮天、金井孝、山光一、阿部六郎、富田久、青柳龍石、小林安治、酒井光雄、山崎吉興、八田慶正、竹田孝平、瀧澤高、伊藤栄蔵、久松、佐々木謙、一條五郎、小野浩一、山温

投稿歓迎

増殖青年の動向は学校通信員その他種々、随想を事務所宛書し、

470。

(1) 個人会費……………年額金三〇円  
(2) 団体会費……………口年額金一、〇〇〇円  
(3) 贊助会費……………口年額金五、〇〇〇円  
一旦脱した会費は、いかなる理由があつても返還しない。  
食料は会費の刊行する機関紙、配布及び刊行物の特別配布を受け、本会主催の各種物品に参加ができるが、本会会費にうつして、学生生活の苦難その他種々の特典が与えられる。(早稲)

友愛青年同志會會員募集

入會申込所

東京都杉田区蒲田埠町二ノ十九  
友愛青年同志會連絡事務所  
(電話掛號 33) (三三六番)

申込方法

連絡機関紙の欄に記入されば、申込書を返送し致します。

入會金

甲 増殖に入會金(五十円)と会費(一ヶ月分前納)をお送り下さい。但し、金庫券(ハツチ)をお送り致します。

附記

募集單位とは団体加入の場合、人員数により別額相殺下さる。